

研究課題:療養場所別褥瘡の有病率、有病者の特徴、部位・重症度およびケアと局所管理の全国調査

1. 研究の概要

日本褥瘡学会の実態調査委員会では、2006年より過去4回にわたり全国の病院、介護保険施設、在宅（訪問看護ステーション）を対象に褥瘡の実態を調査し、療養別の褥瘡有病率や有病者の特徴などを日本褥瘡学会誌等で報告してきました。報告された結果は、診療報酬の新設や改定の根拠になったり、各施設の褥瘡対策の医療の質を判断する基準となったりしました。今回は、その後の褥瘡の実態を明らかにし、医療の質の向上に寄与するための基礎的なデータを得ることを目的に、調査を行います。また、これまで調査対象に含まれていなかった300床未満の病院を対象施設に含めることで、より現状に近い本邦の病院における褥瘡医療の質を明らかにします。

2. 研究の方法

1) 研究の対象

倫理委員会承認日から川崎医科大学附属病院 褥瘡対策委員会で設定している調査日(10月中の任意に指定した日)までの時点で入院中の褥瘡の治療(検査)を受けた患者を対象といたします。

2) 研究期間

2026年6月26日～2030年3月31日

3) 研究方法

倫理委員会承認日から川崎医科大学附属病院 褥瘡対策委員会で設定している調査日(10月中の任意に指定した日)までの時点で入院中の褥瘡の治療(検査)を受けた患者の診療記録(電子カルテ)から、下記の情報を集計し、本研究のために使用させていただきます。

4) 研究に用いる情報の種類

(1) 施設情報

病床の種類、機能、開設者、病院機能、病棟・部署、支払い方式、許可・平均稼働病床数、標榜科目数、皮膚科・形成外科医の有無と人数、平均在院日数、皮膚・排泄ケア認定看護師・ET数、特定行為のできる看護師数、褥瘡関連の加算に関する施設基準の届出状況、褥瘡管理者(資格と人数)、褥瘡対策チーム(職種と人数)、褥瘡回診(有無、頻度、回診チームの職種と人数)、褥瘡対策委員会(委員構成、開催頻度)、調査日の入院患者数、調査日の日常生活自立度B・Cランクの入院患者数、調査日の褥瘡患者数(院内発生者数、入院時保有者数)、褥瘡管理に関する認識

(2) 患者情報

疾患名(ICD-10分類)、年齢(5歳区分)、性別、健康障害のレベル、日常生活自立度、要介護度、褥瘡発生原因、褥瘡部位、褥瘡が発生した場所、褥瘡の病変の状態、使用している体圧分散寝具・用具、体位変換時間、栄養状態、局所治療法、危険因子、褥瘡ハイリスク因子、発生に関する因子、患者の転、医療関連機器褥瘡の発生部位・重症度、医療関連機器褥瘡の病変の状態、発生に関与した医療関連機器、医療関連機器褥瘡の発生要因

5) 外部への情報提供

対象となる患者の診療記録(電子カルテ) から上記の情報を調査し、患者が直接同定できる個人情報、匿名化した後に日本褥瘡学会へインターネットを介して提供します。インターネットでの情報提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

6) 情報の保存および二次利用

この研究に使用した情報は、研究中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学附属病院褥瘡対策室内で保存させていただきます。電子情報の場合は、パスワード等で制御されたコンピューターに保存し、そのたの情報は、施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出ください。また、情報が本研究に同意をいただけない方は研究対象といたしませんので、下記までご一報くださいますようお願いいたします。なお、同意撤回による診療など病院サービスに於いて患者の皆様の不利益を生じることは一切ありません。

〈問い合わせ・連絡先〉

川崎医科大学附属病院 褥瘡対策室 看護主任 貝川 恵子

住所: 〒701-0192 岡山県倉敷市松島577

電話番号: 086-462-1111 内線: 21536 (平日 9 時～17 時)

E-mail : kkai@med.kawasaki-m.ac.jp

研究代表機関 : 藤田医科大学 保健衛生学部・教授／日本褥瘡学会・理事長

研究責任者 : 須釜 淳子

E-mail : junko.sugama@fujita-hu.ac.jp

3. 資金と利益相反

本研究は費用を要していません。研究結果に影響を及ぼすような資金の使用および受け入れはありません。深刻な利益相反の状態にはなっていません。